

様式1

令和2年度 学校評価表

| | |
|---|--|
| 学校教育目標 美しい木々が健やかに育つ学校〔自律・挑戦・創造・人間性・協栄〕 ～知・徳・体を磨き続け、郷土に誇りを持ち、グローバル社会を生き抜く生徒の育成～ | |
| a ミッション 小中連携を核とした確かな学力定着の取組の深化と発信 | a ビジョン ・授業改善と積極的な生徒指導。組織的な学校運営を行い、主体性と創意工夫により、質の高い教育を提供できる学校 ・地域連携により人的・物的資源を生かした活動を行うことにより、地域に開かれ、保護者・地域と相互に高め合う安心・安全な学校 |

尾道市立美木中学校

| 評価計画 | | | | 自己評価 | | | | 学校関係者評価 | | | 改善計画 | | | |
|----------|-------------------------|--|--|-------|-------|-------|-------|---------|--|--------|------|---|---|---|
| b 中期経営目標 | c 短期経営目標 | d 目標達成のための方策 | e 評価指標 | f 目標値 | 7月 | 1月 | h 達成度 | i 評価 | j 結果と課題の説明 | k 二次評価 | | | l コメント | m 改善案 |
| | | | | | g 達成値 | g 達成値 | | | | イ | ロ | ハ | | |
| 確かな学力の育成 | コンピテンシー（資質・能力）の育成 | ・学習意欲の向上を図る。 ・新聞を活用した授業づくりを実施する。 | ・教職員一人一研究のテーマに沿って授業改善を実施する。 ・研究の成果があったと実感する教職員の割合 | 100% | 86% | 100% | 100% | A | 学習意欲の向上に向け、研究テーマの見直ししたり、取組内容を精選したりするなど、視点を明確にして授業改善に取組むことができた。 | ○ | | | ・継続して取り組んで下さい。 ・十分、達成できている。 | ・学習評価も含め、まだ、知識・理解・技能に比重が高い、思考力・判断力・表現力等の資質・能力をつける単元構想を教科を超えて構想できる力が求められているので、授業改善の視点を明確にした教育研究の充実を図る。 |
| | | | ・「社会の動向に興味・関心が高まった」に肯定的に回答する生徒の割合 | 85% | 55% | 77% | 91% | B | 思考力・表現力育成を目的とし、授業で新聞を活用することが増えている。ただ読ませるだけでなく、自分の考えを持たせたり、多面的・多角的な思考をさせたりする課題設定になるよう工夫している。 | ○ | | | ・自分の考えが言えるような環境づくりをお願いしたい。 ・もう少しでした。次回に期待します。 | |
| 豊かな心の育成 | 自主性・主体性・社会性の育成、自己肯定感の向上 | ・自己肯定感の向上を図る。 ・個人内評価を充実させる取組を実施する。 | ・「自分は役に立っている」に肯定的に回答する生徒の割合 | 80% | 62% | 60% | 76% | C | 社会貢献できる生徒の育成のためにも、集団生活の中で、周りの役に立っていると感ずる場面設定等、工夫する必要がある。担任との面談等で、「役に立つ」ことの意味について共有していく必要がある。 | ○ | | | ・生徒の気持ちがどうかと理解できるよう、しっかりみていって下さい。 ・継続してお願いします。 ・まだまだですね。継続してぜひ、達成しましょう。 ・目標をもっと大きく設定して下さい。 | ・「自分は役に立っている」ことを実感させる教育活動を仕組んでいく必要がある。教職員と生徒のつながりができつつあるので、生徒と生徒をさらにつなぐ取組が必要である。 |
| | | | ・「学校には自分のことを認めてくれたり、わかってくれたりする先生がいる」に肯定的に回答する生徒の割合 | 80% | 98% | 95% | 119% | A | 日常的な声かけや適切な指導によって、教職員と生徒の良好な関係が築けている。この関係性から、生徒の自己肯定感を高めることにつながる取組が必要である。 | ○ | | | | |
| 業務改善 | 働き方改革 | ・組織的な学校経営の醸成。 ・学校評価の趣旨を理解し、実践できる教職員を育成する。 | ・「学校経営に積極的に参画している」に肯定的に回答する教職員の割合 | 80% | 85% | 100% | 125% | A | 学校経営は職員一人一人の実践の積み重ねと関連していることを伝えてきた。どのように仕事をするのか常に問われていることを意識した人材の育成をめざす。 | ○ | | | ・評価したいと思います。 | ・教職員一人一人の実践が、学校経営につながっていくことをさらに意識させ、学校教育目標を意識した取組になるよう指導する。 |

【自己評価 評価】
 A：100≦（目標達成）
 C：60≦（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100
 D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。